

四半期報告書

(第90期第1四半期)

自 平成25年4月1日

至 平成25年6月30日

北陸電力株式会社

富山市牛島町15番1号

E04503

目次

ページ

表紙

| | |
|-------------------------------|----|
| 第一部 企業情報 | 1 |
| 第1 企業の概況 | 1 |
| 1 主要な経営指標等の推移 | 1 |
| 2 事業の内容 | 2 |
| 第2 事業の状況 | 3 |
| 1 事業等のリスク | 3 |
| 2 経営上の重要な契約等 | 3 |
| 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 | 3 |
| 第3 提出会社の状況 | 7 |
| 1 株式等の状況 | 7 |
| (1) 株式の総数等 | 7 |
| (2) 新株予約権等の状況 | 7 |
| (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 | 7 |
| (4) ライツプランの内容 | 7 |
| (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 | 7 |
| (6) 大株主の状況 | 7 |
| (7) 議決権の状況 | 8 |
| 2 役員の状況 | 8 |
| 第4 経理の状況 | 9 |
| 1 四半期連結財務諸表 | 10 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 10 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 12 |
| 四半期連結損益計算書 | 12 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 13 |
| 2 その他 | 17 |
| 第二部 提出会社の保証会社等の情報 | 18 |

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

| | |
|------------|---|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成25年7月30日 |
| 【四半期会計期間】 | 第90期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日） |
| 【会社名】 | 北陸電力株式会社 |
| 【英訳名】 | Hokuriku Electric Power Company |
| 【代表者の役職氏名】 | 取締役社長 久和 進 |
| 【本店の所在の場所】 | 富山市牛島町15番1号 |
| 【電話番号】 | 076（441）2511（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 経理部連結・制度会計チーム統括（課長） 横谷 正樹 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都港区虎ノ門二丁目8番1号 虎の門電気ビル内 |
| 【電話番号】 | 03（3502）0471（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 東京支社調査チーム統括（課長） 斉藤 勝宏 |
| 【縦覧に供する場所】 | 北陸電力株式会社 石川支店 （金沢市下本多町六番丁11番地） 北陸電力株式会社 福井支店 （福井市日之出一丁目4番1号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | | 第89期 第1四半期 連結累計期間 | 第90期 第1四半期 連結累計期間 | 第89期 |
|--------------------------|-----|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | | 自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日 | 自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日 | 自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日 |
| 売上高（営業収益） | 百万円 | 116,711 | 115,374 | 492,487 |
| 経常利益 | 〃 | 14,471 | 1,458 | 1,713 |
| 四半期（当期）純利益 | 〃 | 8,888 | 492 | 98 |
| 四半期包括利益又は包括利益 | 〃 | 8,074 | 649 | 1,994 |
| 純資産額 | 〃 | 342,355 | 326,475 | 331,049 |
| 総資産額 | 〃 | 1,372,623 | 1,418,229 | 1,395,976 |
| 1株当たり四半期（当期）純利益金額 | 円 | 42.56 | 2.36 | 0.47 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額 | 〃 | — | — | — |
| 自己資本比率 | % | 24.9 | 23.0 | 23.7 |

（注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していない。

2. 売上高には、消費税等は含まれていない。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していない。

2【事業の内容】

当社グループは、当社及び関係会社24社（子会社15社、関連会社9社）で構成されている。

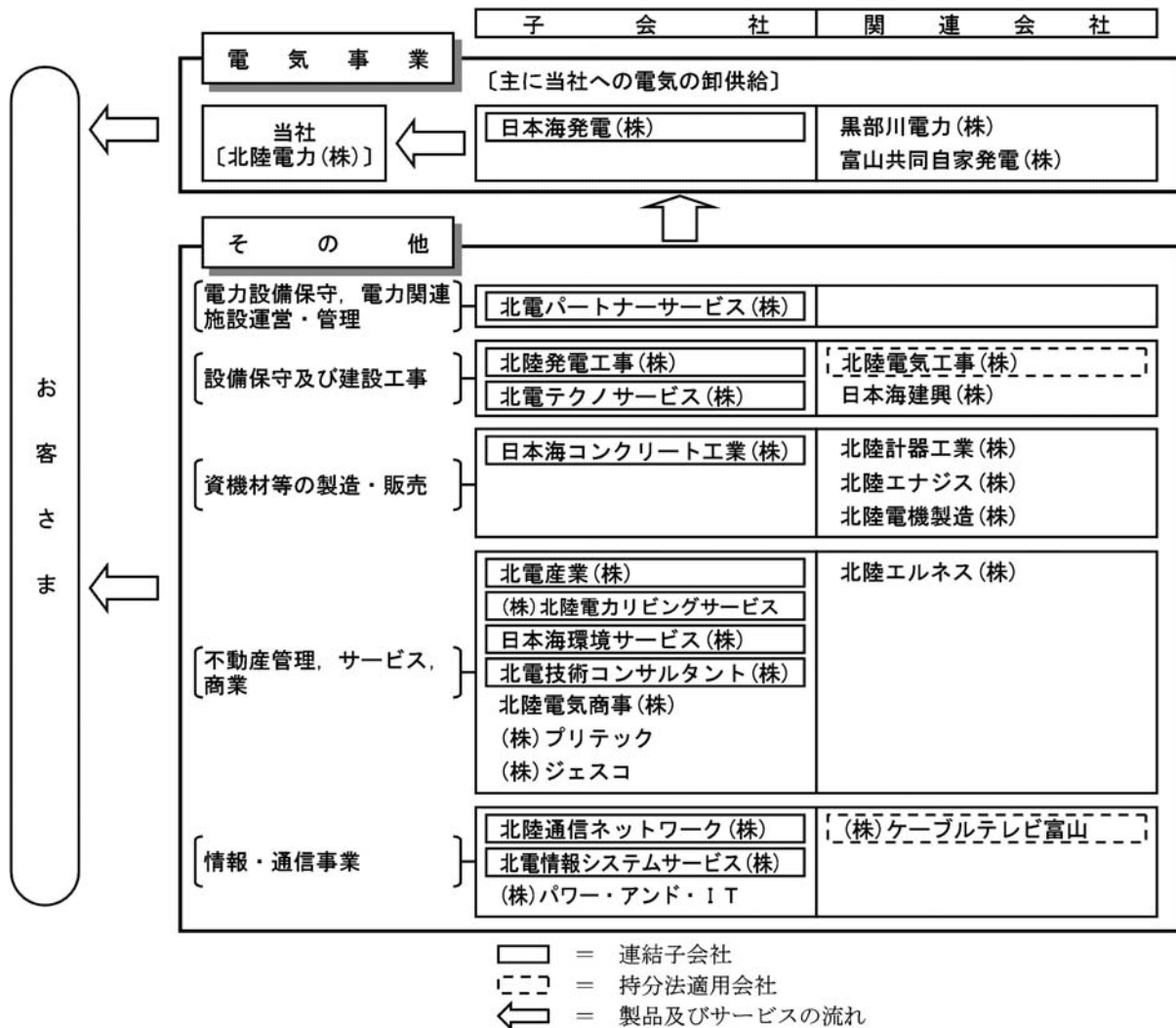
当社はその中心として、北陸三県〔富山県、石川県、福井県（一部を除く）〕と岐阜県の一部に電気を供給することを主たる事業としている。

当社の関係会社には、発電を行い主に当社へ卸供給している会社をはじめ、主に電力の供給に必要な設備の建設・補修や資機材の製造を行っている会社、当社の事業運営に付随するサービス業務に携わっている会社、更に、当社が保有する技術等を活用して情報通信事業を営んでいる会社がある。

当第1四半期連結累計期間において、主な事業内容の変更及び主要な関係会社の異動はない。

当第1四半期連結会計期間末における各事業の主な内容と関係会社及びその相互関係は下図のとおりである。

○ 事業系統図



第2【事業の状況】

(注) 金額には、消費税等は含まれていない。

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性のある主なリスクについて重要な変更はない。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はない。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、生産や雇用情勢に改善傾向がみられるなど、持ち直している。北陸地域においても同様の状況で推移した。

このような経済情勢のもと、当第1四半期連結累計期間の収支については、収益面では、電気事業において卸電力取引所での取引や他の電力会社への販売電力収入の減少などから、売上高（営業収益）は1,153億円（前年同四半期比98.9%）となり、これに営業外収益を加えた経常収益は1,163億円（同99.0%）となった。

一方、費用面では、経費全般にわたり効率化に努めたが、電気事業において石炭火力発電所の定期点検台数が前年に比べ多かったことにより、石油火力の発電量が増加し、燃料費が増加したことなどから、経常費用は1,148億円（同111.5%）となった。

この結果、経常利益は14億円（同10.1%）となり、四半期純利益は4億円（同5.5%）となった。

セグメントの業績（セグメント間の内部取引消去前）は、次のとおりである。

① 電気事業

当第1四半期連結累計期間の販売電力量は、電灯は、検針期間が前年に比べ短かったことなどから、前年同四半期を下回った。業務用は、冷房需要増などから前年同四半期を上回り、産業用その他は、大口電力が低調に推移したことなどから、前年同四半期を下回った。

この結果、販売電力量は64億75百万キロワット時（うち特定規模需要43億30百万キロワット時）となり、前年同四半期と比較すると0.5%の減少となった。

供給力については、出水率が94.9%と平年を下回り、志賀原子力発電所1・2号機は停止中であつたが、供給設備全般にわたる効率的運用に努めた結果、期を通じて安定した供給を維持することができた。

収支については、売上高は、卸電力取引所での取引や他の電力会社への販売電力収入の減少などから、1,118億円（前年同四半期比99.0%）となった。

一方、営業費用は、経費全般にわたり効率化に努めたが、石炭火力発電所の定期点検台数が前年に比べ多かったことにより、石油火力の発電量が増加し、燃料費が増加したことなどから、1,084億円（同111.9%）となった。

この結果、営業利益は34億円（同21.7%）となった。

② その他

売上高は、請負工事等の受注の減少などから101億円（前年同四半期比97.3%）、営業費用は97億円（同99.6%）となった。

この結果、営業利益は4億円（同66.1%）となった。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はない。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、575百万円である。

また、当第1四半期連結累計期間における研究開発活動の内容は、次のとおりである。

(電気事業)

- 電力の安定供給、低炭素社会の実現及び環境保全に資する研究
 - ・再生可能エネルギー大量導入による系統影響の経済的な緩和対策
 - ・信頼性と経済性の両立のための送電線雷事故解析手法の精度向上
 - ・リチウムイオン電池の効率的な使用方法
 - ・電源構成の変化を踏まえた系統解析手法の精度向上
 - ・電力設備の診断・寿命延伸・性能評価技術の開発
 - ・省エネルギー機器の性能評価
 - ・フライアッシュの有効利用

(4) 生産、受注及び販売の実績

当社グループ（当社及び連結子会社）においては、電気事業が事業の大半を占めており、また、電気事業以外の事業は、広範囲かつ多種多様であり、生産、受注、販売といった画一的な区分による表示が困難である。

このため、電気事業の生産、受注及び販売の実績のみを記載している。

① 需給実績

| 種別 | | 当第1四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年6月30日まで) | 前年同四半期比 (%) |
|----------------------------|----------------------|---|---------------|
| 発 受 電 電 力 量 | 自社 | | |
| | 水力発電電力量 (百万kWh) | 2,050 | 97.0 |
| | 火力発電電力量 (百万kWh) | 4,253 | 95.5 |
| | 原子力発電電力量 (百万kWh) | — | — |
| | 新エネルギー等発電電力量 (百万kWh) | 2 | 152.3 |
| | 他社受電電力量 (百万kWh) | 836 △87 | 103.9 62.9 |
| | 融通電力量 (百万kWh) | 117 △207 | 242.4 61.3 |
| | 揚水発電所の揚水用電力量 (百万kWh) | △2 | 82.5 |
| 合計 (百万kWh) | | 6,961 | 100.3 |
| 損失電力量等 (百万kWh) | | △486 | 112.6 |
| 販売電力量 (百万kWh) | | 6,475 | 99.5 |
| 出水率 (%) | | 94.7 | — |

(注) 1. 他社受電電力量のうち、連結子会社からの受電電力量は49百万kWhであり、これを含めた出水率は94.9%である。

2. 他社受電電力量及び融通電力量の上段は受電電力量、下段は送電電力量を示している。

3. 揚水発電所の揚水用電力量とは、貯水池運営のための揚水用に使用する電力量である。

4. 販売電力量の中には、営業収益には計上されない自社事業用電力量 (8百万kWh) を含んでいる。

5. 出水率は、昭和57年度から平成23年度までの第1四半期の30か年平均に対する比である。

6. 四捨五入のため合計が一致しない場合がある。

② 販売実績

a. 契約高

| 種別 | | 当第1四半期連結会計期間末 (平成25年6月30日) | 前年同四半期比 (%) |
|-----------|----|-------------------------------|-------------|
| 契約口数 | 電灯 | 1,868,273 | 100.7 |
| | 電力 | 226,715 | 97.4 |
| | 計 | 2,094,988 | 100.4 |
| 契約電力 (kW) | 電灯 | 7,517,409 | 101.9 |
| | 電力 | 1,606,857 | 97.6 |
| | 計 | 9,124,266 | 101.1 |

(注) 本表には特定規模需要、他社販売及び電力会社融通(送電分)を含まない。

b. 販売電力量及び料金収入

イ. 販売電力量

| 種別 | | 当第1四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年6月30日まで) | 前年同四半期比 (%) |
|-----------------------|-----------------|---|-------------|
| 特定規模需要以外 | 電灯 (百万kWh) | 1,870 | 99.3 |
| | 電力 (百万kWh) | 275 | 96.3 |
| | 電灯電力計 (百万kWh) | 2,145 | 98.9 |
| 特定規模需要 | 業務用 (百万kWh) | 1,151 | 102.4 |
| | 産業用その他 (百万kWh) | 3,179 | 98.8 |
| | 特定規模需要計 (百万kWh) | 4,330 | 99.7 |
| 電灯電力・特定規模需要合計 (百万kWh) | | 6,475 | 99.5 |
| 他社販売 (百万kWh) | | 87 | 62.9 |
| 融通 (百万kWh) | | 207 | 61.3 |
| (再掲) 大口電力 (百万kWh) | | 2,565 | 98.5 |

ロ. 料金収入

| 種別 | 当第1四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年6月30日まで) | 前年同四半期比 (%) |
|--------------|---|-------------|
| 電灯 (百万円) | 35,405 | 100.2 |
| 電力 (百万円) | 63,523 | 101.4 |
| 電灯電力合計 (百万円) | 98,928 | 101.0 |
| 他社販売 (百万円) | 1,447 | 65.5 |
| 融通 (百万円) | 7,911 | 67.7 |

(注) 電力には、特定規模需要を含む。

c. 産業別（大口電力）販売電力量

| 種別 | | 当第1四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年6月30日まで) | 前年同四半期比 (%) | |
|------------|-------------|---|-------------|-------|
| 鋁工業 | 鋁業 (百万kWh) | — | — | |
| | 製造業 | 食料品 (百万kWh) | 51 | 99.2 |
| | | 繊維工業 (百万kWh) | 256 | 100.6 |
| | | パルプ・紙・紙加工品 (百万kWh) | 75 | 97.0 |
| | | 化学工業 (百万kWh) | 317 | 101.9 |
| | | 窯業・土石 (百万kWh) | 101 | 110.2 |
| | | 鉄鋼業 (百万kWh) | 198 | 93.6 |
| | | 非鉄金属 (百万kWh) | 220 | 96.9 |
| | | 機械器具製造業 (百万kWh) | 775 | 96.6 |
| | | その他 (百万kWh) | 375 | 99.4 |
| | | 計 (百万kWh) | 2,368 | 98.5 |
| 計 (百万kWh) | 2,368 | 98.5 | | |
| その他 | 鉄道業 (百万kWh) | 53 | 101.6 | |
| | その他 (百万kWh) | 144 | 96.7 | |
| | 計 (百万kWh) | 197 | 97.9 | |
| 合計 (百万kWh) | | 2,565 | 98.5 | |

(5) 主要な設備

当第1四半期連結累計期間において、主要な設備に関し、新設、除却等による著しい変動はない。
また、前連結会計年度末において計画中であった新設、除却等について著しい変更はない。

なお、下記3箇所の水力発電所は、設備改修や最大取水量増加により出力増加となった。

(電気事業)

電源

| 発電所名 | 変更前の出力(kW) | 変更後の出力(kW) | 運用開始 |
|----------|------------|------------|---------|
| 東町発電所 | 31,300 | 32,200 | 平成25年4月 |
| 新猪谷発電所 | 33,500 | 35,400 | 平成25年5月 |
| 神通川第二発電所 | 41,000 | 44,000 | 平成25年5月 |

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 400,000,000 |
| 計 | 400,000,000 |

②【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成25年7月30日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|-----------------------------|------------------------------------|--------------------|
| 普通株式 | 210,333,694 | 同左 | 東京証券取引所 (市場第一部) | 単元株式数は 100株である。 |
| 計 | 210,333,694 | 同左 | — | — |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はない。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はない。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はない。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (千株) | 発行済株式 総数残高 (千株) | 資本金増減額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金 増減額 (百万円) | 資本準備金 残高 (百万円) |
|--------------------------|------------------------|-----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 平成25年4月1日～ 平成25年6月30日 | — | 210,334 | — | 117,641 | — | 33,993 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はない。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしている。

① 【発行済株式】

平成25年6月30日現在

| 区分 | 株式数（株） | 議決権の数（個） | 内容 |
|----------------|----------------------------|-----------|-----------------------------------|
| 無議決権株式 | — | — | — |
| 議決権制限株式（自己株式等） | — | — | — |
| 議決権制限株式（その他） | — | — | — |
| 完全議決権株式（自己株式等） | (自己保有株式) 普通株式 1,499,000 | — | 「1(1)②発行済株式」の 「内容」欄に記載のとおりである。 |
| | (相互保有株式) 普通株式 18,300 | — | 同上 |
| 完全議決権株式（その他） | 普通株式 207,379,300 | 2,073,793 | 同上 |
| 単元未満株式 | 普通株式 1,437,094 | — | — |
| 発行済株式総数 | 210,333,694 | — | — |
| 総株主の議決権 | — | 2,073,793 | — |

(注) 「完全議決権株式（その他）」欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が2,100株含まれている。
また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数21個が含まれている。

② 【自己株式等】

平成25年6月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有 株式数（株） | 他人名義所有 株式数（株） | 所有株式数の 合計（株） | 発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%) |
|-----------------------|-------------------|------------------|------------------|-----------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 北陸電力株式会社 | 富山市牛島町15番1号 | 1,499,000 | — | 1,499,000 | 0.71 |
| (相互保有株式) 黒部川電力株式会社 | 東京都港区虎ノ門二丁目8番1号 | 10,000 | — | 10,000 | 0.00 |
| 日本海建興株式会社 | 富山市牛島町24番6号 | 6,200 | — | 6,200 | 0.00 |
| 北陸エナジス株式会社 | 石川県羽咋郡志賀町若葉台11番地1 | 2,100 | — | 2,100 | 0.00 |
| 計 | — | 1,517,300 | — | 1,517,300 | 0.72 |

(注) このほか、株主名簿上は当社名義になっているが、実質的に所有していない株式が200株（議決権の数2個）ある。

なお、当該株式数は①「発行済株式」の「完全議決権株式（その他）」の中にも含めている。

2 【役員の状況】

該当事項はない。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に準拠し、「電気事業会計規則」（昭和40年通商産業省令第57号）に準じて作成している。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けている。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日) |
|--------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 固定資産 | 1,183,664 | 1,178,929 |
| 電気事業固定資産 | 894,722 | 884,591 |
| 水力発電設備 | 113,884 | 112,297 |
| 汽力発電設備 | 111,482 | 111,357 |
| 原子力発電設備 | 216,671 | 211,773 |
| 送電設備 | 172,571 | 171,088 |
| 変電設備 | 89,325 | 88,321 |
| 配電設備 | 151,783 | 151,166 |
| 業務設備 | 31,307 | 31,070 |
| その他の電気事業固定資産 | 7,695 | 7,516 |
| その他の固定資産 | 29,075 | 28,485 |
| 固定資産仮勘定 | 34,774 | 36,812 |
| 建設仮勘定及び除却仮勘定 | 34,774 | 36,812 |
| 核燃料 | 96,994 | 99,488 |
| 装荷核燃料 | 26,219 | 26,219 |
| 加工中等核燃料 | 70,775 | 73,268 |
| 投資その他の資産 | 128,098 | 129,550 |
| 長期投資 | 61,620 | 62,079 |
| 使用済燃料再処理等積立金 | 17,231 | 16,032 |
| 繰延税金資産 | 37,221 | 39,524 |
| その他 | 12,087 | 11,986 |
| 貸倒引当金（貸方） | △61 | △72 |
| 流動資産 | 212,311 | 239,300 |
| 現金及び預金 | 116,340 | 139,306 |
| 受取手形及び売掛金 | 37,974 | 39,913 |
| たな卸資産 | 28,636 | 31,611 |
| 繰延税金資産 | 8,574 | 6,097 |
| その他 | 20,950 | 22,531 |
| 貸倒引当金（貸方） | △163 | △160 |
| 合計 | 1,395,976 | 1,418,229 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債及び純資産の部 | | |
| 固定負債 | 863,234 | 906,808 |
| 社債 | 438,627 | 478,630 |
| 長期借入金 | 288,856 | 294,930 |
| 退職給付引当金 | 27,816 | 25,986 |
| 使用済燃料再処理等引当金 | 17,989 | 16,898 |
| 使用済燃料再処理等準備引当金 | 5,429 | 5,483 |
| 資産除去債務 | 67,654 | 68,043 |
| その他 | 16,861 | 16,835 |
| 流動負債 | 191,795 | 174,699 |
| 1年以内に期限到来の固定負債 | 87,423 | 86,997 |
| 短期借入金 | 15,821 | 16,621 |
| 支払手形及び買掛金 | 24,908 | 20,038 |
| 未払税金 | 8,183 | 5,980 |
| その他 | 55,458 | 45,060 |
| 特別法上の引当金 | 9,896 | 10,245 |
| 濁水準備引当金 | 9,896 | 10,245 |
| 負債合計 | 1,064,927 | 1,091,753 |
| 株主資本 | 325,031 | 320,301 |
| 資本金 | 117,641 | 117,641 |
| 資本剰余金 | 33,993 | 33,993 |
| 利益剰余金 | 176,681 | 171,952 |
| 自己株式 | △3,284 | △3,286 |
| その他の包括利益累計額 | 6,017 | 6,174 |
| その他有価証券評価差額金 | 6,017 | 6,354 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | △180 |
| 純資産合計 | 331,049 | 326,475 |
| 合計 | 1,395,976 | 1,418,229 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年6月30日まで) | 当第1四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年6月30日まで) |
|-----------------|---|---|
| 営業収益 | 116,711 | 115,374 |
| 電気事業営業収益 | 112,851 | 111,744 |
| その他事業営業収益 | 3,860 | 3,629 |
| 営業費用 | 99,917 | 111,383 |
| 電気事業営業費用 | 96,752 | 108,314 |
| その他事業営業費用 | 3,164 | 3,069 |
| 営業利益 | 16,794 | 3,991 |
| 営業外収益 | 759 | 934 |
| 受取配当金 | 224 | 227 |
| 受取利息 | 121 | 106 |
| 持分法による投資利益 | 64 | 132 |
| その他 | 348 | 466 |
| 営業外費用 | 3,082 | 3,467 |
| 支払利息 | 3,008 | 3,148 |
| その他 | 74 | 318 |
| 四半期経常収益合計 | 117,471 | 116,308 |
| 四半期経常費用合計 | 103,000 | 114,850 |
| 経常利益 | 14,471 | 1,458 |
| 減価償却引当又は取崩し | 824 | 348 |
| 減価償却引当 | 824 | 348 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 13,646 | 1,109 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 842 | 424 |
| 法人税等調整額 | 3,915 | 191 |
| 法人税等合計 | 4,757 | 616 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 8,888 | 492 |
| 四半期純利益 | 8,888 | 492 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年6月30日まで) | 当第1四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年6月30日まで) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 8,888 | 492 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △800 | 326 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | △180 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △13 | 10 |
| その他の包括利益合計 | △814 | 156 |
| 四半期包括利益 | 8,074 | 649 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 8,074 | 649 |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

| 項目 | | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日) |
|----|----------------------------|--|--|
| | | (百万円) | (百万円) |
| 1 | 偶発債務 | | |
| | 以下の会社等の金融機関からの借入金に対する保証債務 | | |
| | 日本原燃株 | 37,134 | 36,381 |
| | 日本原子力発電株 | 17,492 | 17,492 |
| | 株パワー・アンド・IT | 1,300 | 1,300 |
| | 従業員(住宅及び厚生資金借入) | 15,124 | 14,762 |
| | 合計 | 71,051 | 69,937 |
| | 以下の会社が発行する社債に対する保証債務 | | |
| | 日本原燃株 | 1,414 | 1,414 |
| | 以下の会社の金融機関からの借入金に対する保証予約債務 | | |
| | 原燃輸送株 | 2 | — |
| | 社債の債務履行引受契約に係わる偶発債務(*) | | |
| | 北陸電力第245回国内普通社債 | 29,670 | 29,670 |
| | 北陸電力第248回国内普通社債 | 22,500 | 22,500 |
| | 北陸電力第250回国内普通社債 | 20,000 | 20,000 |
| | 合計 | 72,170 | 72,170 |
| | | 金融商品に関する会計基準における経過措置が適用される債務履行引受契約により債務履行を委任したものである。 | 金融商品に関する会計基準における経過措置が適用される債務履行引受契約により債務履行を委任したものである。 |
| | (*) 契約先別の偶発債務残高 | | |
| | 株みずほコーポレート銀行 | 62,170 | 62,170 |
| | 株三菱東京UFJ銀行 | 10,000 | 10,000 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

| 項目 | | 前第1四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年6月30日まで) | 当第1四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年6月30日まで) |
|----|-------|---|---|
| | | (百万円) | (百万円) |
| 1 | 減価償却費 | 18,960 | 17,790 |

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成24年6月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 5,221 | 25 | 平成24年3月31日 | 平成24年6月28日 | 利益剰余金 |

II 当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成25年6月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 5,220 | 25 | 平成25年3月31日 | 平成25年6月27日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告 セグメント | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|-------------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 電気事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 112,851 | 3,860 | 116,711 | — | 116,711 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 154 | 6,618 | 6,772 | △6,772 | — |
| 計 | 113,005 | 10,478 | 123,484 | △6,772 | 116,711 |
| セグメント利益 | 16,078 | 705 | 16,784 | 10 | 16,794 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電力設備等の保守、電力関連施設の運営・管理、建設工事の受託・請負、電力設備等の資機材等の製造・販売、不動産管理、情報・通信事業、電気機器等の普及、土木・建築工事の調査・設計などの事業を含んでいる。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去である。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

- II 当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告 セグメント | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|-------------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 電気事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 111,744 | 3,629 | 115,374 | — | 115,374 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 153 | 6,568 | 6,722 | △6,722 | — |
| 計 | 111,898 | 10,198 | 122,097 | △6,722 | 115,374 |
| セグメント利益 | 3,482 | 466 | 3,949 | 41 | 3,991 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電力設備等の保守、電力関連施設の運営・管理、建設工事の受託・請負、電力設備等の資機材等の製造・販売、不動産管理、情報・通信事業、電気機器等の普及、土木・建築工事の調査・設計などの事業を含んでいる。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去である。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

| | 前第1四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年6月30日まで) | 当第1四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年6月30日まで) |
|----------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 42円56銭 | 2円36銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(百万円) | 8,888 | 492 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(百万円) | 8,888 | 492 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 208,840 | 208,834 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

2【その他】

該当事項はない。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項なし。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年7月30日

北 陸 電 力 株 式 会 社
取 締 役 会 御 中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 白 羽 龍 三 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 西 川 正 房 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 安 田 康 宏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている北陸電力株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結結果計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、北陸電力株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結結果計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途管理しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。